



2025-26年度国際ロータリー会長のメッセージ 「よいことのために手を取りあおう」

■創立 1964年3月2日 ■例会日 毎・金曜日12時30分 ■例会場 オークラ千葉ホテル  
■会長 今井 太志 ■幹事 常世 田正弘 ■会報委員長 赤峰 加功平  
■事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2025-26年度

## 第2918回

2026年1月9日(金) 点鐘12:30(晴れ)

- ◆国歌斉唱 『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
  1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

### ◆お客様紹介

・千葉南RC元会員 末吉 沙果様

### ◆乾杯

#### 酒井 秀大直前会長

皆様あけましておめでとうございます。

今年は午年ということで、万事ウマく行くという精神で頑張って参りたいと思います。

皆様のご健勝とクラブの

益々の発展を祈念しまして **乾杯!!**



### ◆会長報告

今井 太志会長

#### 【理事・委員長会議報告】

- ① クラブ運営資金会計報告 承認
- ② ニコニコボックス会計報告 承認
- ③ 千葉市児童相談所『緑日ごっこ』会計報告 承認
- ④ 千葉市児童相談所支援の件
- ⑤ 2026-27 年度地区委員推薦の件
- ⑥ 台湾国際大会の件
- ⑦ 第49回RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)セミナー開催の件
- ⑧ スリランカサイクロン「ディトワ」被害支援金について
- ⑨ ネットワークセキュリティサービス提案の件

### ◆出席報告(会員数57名)

出席者数	欠席者数	ビジター	12/26 修正出席率
45名	12名	1名	休会のため次にて

### ◆ニコニコボックス報告

#### ○末吉沙果元会員

本日は例会に参加させていただき、有難うございます。母がいつもお世話になっており、心より御礼申し上げます。

この度、新しい会社に就職致しましたので、ご挨拶も兼ねてお伺い致しました。

本日、私事ではございますが、36歳(年女)の誕生日を迎えました。両親をはじめ、これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

#### ○今井 太志会長・常世田 正弘幹事

新年、明けましておめでとうございます。

今年も千葉南ロータリークラブが笑顔と活気あふれる一年となりますよう皆さんと共に歩んでまいりたいと思います。2025-26 年度も折り返しに入りましたがこれまでのご協力に心より感謝申し上げます。

引き続き、無理のない範囲でのご参加とご支援をお願い申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

皆様、いつも本当に有難うございます。

#### ◎高橋 豊会員

新年、明けましておめでとうございます。

本日、弊社40周年記念行事のため、例会出席が叶いません。次回、皆さんとお会いできますことを楽しみにしております。

#### ◎吉田裕成会員、植松省自会員、斎藤 昌雄会員

明けましておめでとうございます。

昨年の忘年家族例会は、素晴らしい企画で大いに盛り上がりました。親睦活動委員会の皆さん、ご苦勞様でした。

今井・常世田年度も折り返しました。会長、幹事の残りの目標達成に向けて会員皆で力を合わせましょう。

本日のニコニコボックス	24,000 円	累計	325,615 円
-------------	----------	----	-----------

## ◆国際ロータリーより記念品伝達

《第6回ポールハリスフェロー寄付》

大塚 裕正会員



## ◆ロータリー米山記念奨学会より感謝状伝達

《第2回米山功労者》 五十嵐博章会員



## 本日の卓話

演 題⇒ 『新年のご挨拶』  
卓話者⇒ 今井 太志 会長



皆さま、新年あけましておめでとうございます。

2026 年、最初の例会を迎えるにあたり、先ずは私がこの一年の所信として掲げた言葉について、その背景も含めてお話をさせていただきます。

私の 2026 年の所信は、「不動」です。

# 不動

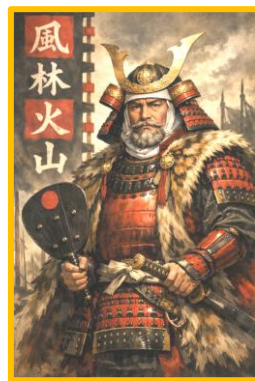
この言葉を選んだ理由をお話しする前に、まずは私自身の昨年一年間を率直に振り返らせていただきます。

昨年7月より千葉南ロータリークラブの会長を拝命し、また仕事との両立をなんとか図りながら、生命保険募集人の職業に就いてから過去最高の業績を上げることができました。しかし一方で、一年は驚くほどあっという間に過ぎ去ったというのが、正直な実感でもあります。毎日毎日、心に余裕がないまま時間に追われ、行動は常にバタバタとしていました。

そして昨年末、ようやく立ち止まって自分自身を振り返ったとき、心身ともに、強い疲れを感じている自分がいきました。

そこで私は、自分に問いかけました。これをどう克服するのか。仕事も、そしてロータリー活動も、さらに高みを目指していく。しかし実際には、まだまだ志半ばではないか、と。それぞれ掲げた目標を完遂するために、今の自分に本当に必要な「心の在り方」とは何か。その問いの先に、浮かび上がってきた言葉が「不動」でした。

この「不動」という言葉を考える中で、私の頭に浮かんだのが、武田信玄で知られる風林火山です。



疾きこと風の如く  
徐かなること林の如く  
侵掠すること火の如く  
動かざること山の如し

この言葉の原典は、中国・春秋戦国時代に成立した兵法書、「孫子(そんし)」です。作者は、孫武(そんぶ)という人物とされ、今からおよそ二千五百年前の書物です。「孫子」の特徴は、戦争を精神論や勇気論で語らず、情報、判断、統制、心理といった観点から、極めて冷静に分析している点にあります。

その思想を象徴する一節に、次の言葉があります。

百戦百勝、非善之善者也

(ひやくせんひやくしょうは、ぜんのぜんなるものにあらず)

不戦而屈人之兵、善之善者也

(たたかわずして、ひとのへいをくつするは、ぜんのぜんなるものなり)

百戦百勝は最善ではない。

戦わずして相手を屈することこそが、真の最善である。

つまり孫子は、「勢い」や「感情」で動くことを、最も危険なものとして戒めているのです。

ここで、風林火山に戻ります。

「風」は決断の速さ。「火」は集中した行動力。その間に置かれている「林」は静かで整然とした、制御された動きを意味します。そして最後に来るのが、「不動如山」。

これは、戦場で動かないという意味ではありません。判断の軸がぶれないこと、周囲が騒いでも慌てないこと、自分が守るべき原則を失わないこと。この「山」が揺るがないからこそ、風のように速く動ける。林のように静かに

進める。火のように集中できる。

信玄にとっての「不動」とは、迷いを断ち、正しい道を貫く意志力を意味した言葉だったと私は思います。私自身もまた、忙しさに心を奪われ、動き続けること自体が目的になっていなかったか。その反省の中で、まずは自分の内側に「山」を据える必要があると、強く感じました。ここまでが、私の本年の所信についてのお話です。

さて、本年度の千葉南ロータリークラブは「覚醒～ロータリアンとしての本領発揮～」をスローガンに掲げ、

**①出席率 100%例会の実現**

**②会長幹事による全会員訪問**

**③会員増強 62 名**

**④台北世界大会の千葉ナイト参加及び台湾高雄**

**博愛ロータリークラブとの合同例会実施**

を目標として引き続き活動して参りますが、これらは我々千葉南ロータリークラブが真の「目的」を果たすために、私が設定させていただいた「目標」です。

では、ロータリークラブの「目的」とは何なのか。諸先輩方にとっては当たり前の話で恐縮ですが、ご入会されて未だ間もない方々のために、そして私自身の改めでの勉強の意味でも、これをお話したいと思います。ロータリーの目的はその「基本理念」の中で語られております。

**「基本理念」**

ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

**「ロータリーの目的」**

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

**第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

**第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

**第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

**第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

以上の4つがロータリークラブの目的です。これを遂行するために我々ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき 4 つの問い、それが「四つのテスト」です。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100 カ国語以上に翻訳されています。

**「四つのテスト」**

～言行はこれに照らしてから～

一、真実かどうか

二、みんなに公平か

**三、好意と友情を深めるか**

**四、みんなのためになるかどうか**

ロータリーの目的の中に「奉仕の理念」とございますが、私たちはクラブ活動の土台となる5つの奉仕に力を注いでいます。

**「クラブ奉仕」**

会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。

**「職業奉仕」**

すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てるということです。

**「社会奉仕」**

すべてのロータリアンが地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。

**「国際奉仕」**

国際的なプロジェクトでボランティアを実施したり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

**「青少年奉仕」**

インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

では最後に、ロータリーの2つの公式標語についてお話しします。

**「超我の奉仕」**

**「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」**

この 2 つの標語は、1950 年にデトロイトで開催された RI 国際大会で、ロータリーの公式標語として正式に承認されました。

「超我の奉仕」。私は倫理法人会の会員でもあります。が、倫理法人会のいわばバイブルである「万人幸福の栞」には「己を尊ぶの極(きよく)は、ささげるにある。」「ささげ尽くして己がなくなった時、一切が己となる、天地が己となる。」「人の喜びが、まことのわが喜びである。」と語られています。世の東西を問わず、国を問わず、人種を問わず、人間が本当に幸せになるための究極の極意は「奉げる」ことなのではないでしょうか。

また、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」については、日本の古いことわざに「情けは人の為ならず」とありますが、「巡り巡って、わが身を助く」という意味で、最後は己が報われるという点で非常に酷似しています。二宮尊徳が説いた「人はすでに多くの恩の上に生かされているのだから、その恩に行動で報いよ」という報徳思想もその真意は同じであると思います。

このような気持ちで、引き続き千葉南ロータリークラブとしての「奉仕活動」を本年も行って参りたいと思いますので、益々のご協力、何卒宜しくお願い申し上げます。